

8 薬学第 57 号
令和 8 年 9 月 25 日

各関係機関長 様

公立大学法人 名古屋市立大学 大学院薬学研究科長
服部 光治 (公印省略)

薬品合成化学分野助教の公募期間延長について (依頼)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究科では薬品合成化学分野の助教の公募選考を行っていましたが、この度公募期間を延長することになりました。つきましては、貴機関（学部、大学院、研究機関）および関係方面に適任な候補者がおられましたら、下記の要領でご応募頂きたく、改めて周知方お願い申し上げます。

敬具

記

所 属 : 薬品合成化学分野

専門分野 : 生物活性物質の全合成を中心とする有機合成化学全般

担当科目 : 大学院における有機合成化学に関する特論の講義と研究・演習、学部における有機化学関連科目の講義・演習と実習

応募資格 : 有機合成化学領域で一定の研究業績を有し、着任までに博士の学位を取得していること。薬学教育と研究に積極的に取り組む者。

着任時期 : 令和 10 年 4 月 1 日までのできるだけ早い時期

提出書類 : 本研究科所定の書式による以下の応募書類 (1)～(5) の電子ファイルを提出してください。

(1) 履歴書 (指定様式 01)

(2) 業績目録 (指定様式 02)

取得された特許等の知的財産も含みます。省庁、財団、企業などから代表者として受領した (受領が内定しているものを含める) 研究助成 (委託研究費を含む) の研究課題と助成金額 (直接経費と間接経費) も併せてご記入ください。

(3) 主要な公表論文 3 編以内の別刷またはコピー

(4) 主な業績の要約と今後の抱負 (A 4 用紙 2 枚程度)。ご自身の研究と教育の抱負に加えて、薬学教育全般にわたる展望もお書き下さい。

(5) 問い合わせのできる方 1 名の連絡先 (推薦状不要)

* 指定様式は薬学研究科ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/> からダウンロード可

提出方法：応募書類はアップロードでのデータ提出となります。

《応募手順》

- ① Forms に必要項目を記載し、エントリーしてください。

<https://forms.office.com/r/bjr3n0f574>

【エントリー締切日：令和8年11月26日（木）17:00】

- ② 折り返し、本学より応募書類のアップロード先をご連絡します。

【アップロード締切日：令和8年12月3日（木）17:00】

- ③ アップロードされましたら、確認のため、件名を「名古屋市立大学大学院薬学研究科 薬品合成化学分野助教応募」として、電子メールを下記宛先へ送信してください。

E-mail：phar-jinji@phar.nagoya-cu.ac.jp（名古屋市立大学薬学部事務課宛）

＊1週間程度経っても返信がない場合には、必ずメール等でご確認ください。

○名古屋市立大学薬学部事務課

TEL：052-836-3402

E-mail：phar-jinji@phar.nagoya-cu.ac.jp

選考方法：書類選考後、必要に応じて面談、プレゼンテーションをお願いする場合があります。
名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、業績と能力が同等であるならば女性を積極的に採用します。

その他

- ・提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。
- ・応募書類は選考終了後に責任を持って削除いたします。

以上